

# 県境を越えた「広域連携」による まち・ひと・しごとの好循環づくり

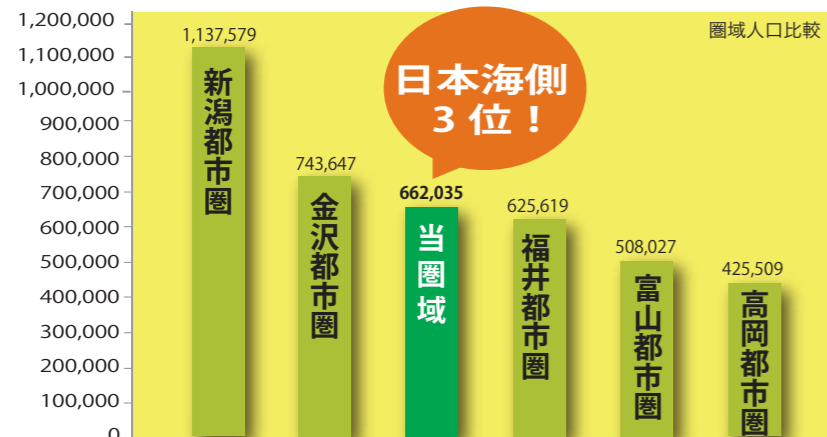


山陰と山陽・四国をつなぐルート



## 日本海側の陸・海・空の重要な戦略拠点

①日本海側の主要都市圏で、新潟、金沢に次ぐ第3位の人口集積 (約 66 万人)



②住みやすさ日本一の地域

**経産省が試算した日本一住みやすい圏域!!**

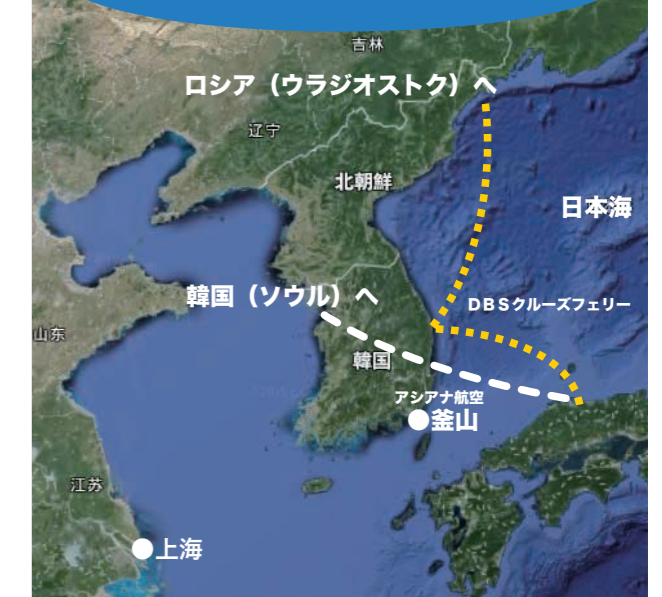
※30代郊外農村志向で、1位松江市、2位出雲市、4位米子市、7位安来市、13位境港市  
 ※30代利便性志向で、1位米子市

**国内トップレベルの医療・介護体制!!**

日本創成会議が発表した医療・介護体制があるとする41地域に松江、米子医療圏が選出 (出雲も含めた圏域が国内トップレベル)  
 施設や医師の集積 (10万人当たりの医師数、病床数) は、全国的に高水準の鳥取大学医学部附属病院 (米子市)、島根大学医学部附属病院 (出雲市)、島根県立中央病院 (出雲市)、松江赤十字病院 (松江市) など

全国1位!

## 環日本海経済交流活動の窓口

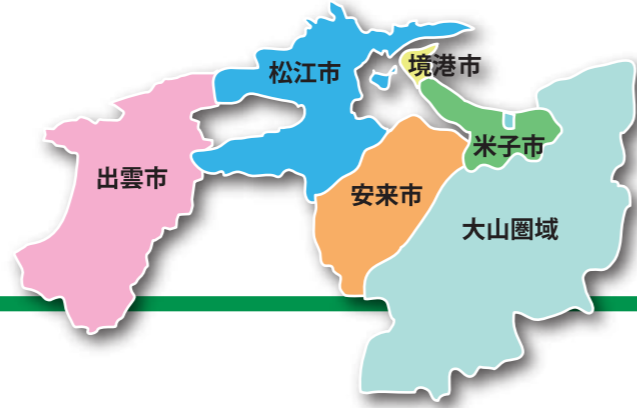


◇ 韓国・ロシアを結ぶ定期貨客船が就航する「境港」  
 ◇ 韓国ソウルとの定期便を持つ「米子鬼太郎空港」

### 位置づけとねらい

#### 県境を越えた広域連携

- 日本海側を代表する拠点
- 北東アジアのゲートウェイ
- 山陰地方の人口流出のダム効果



### 基本目標

#### 圏域人口 60 万人の維持

- 産業集積による仕事・雇用の創出
- 地域資源（ヒト・モノ）の発掘と磨き上げ、そして国内外への発信
- 世界に誇れる歴史・文化のさらなる活用



## 目標の実現に向けた施策

### ①国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成

- 北東アジアに向けたゲートウェイ機能のさらなる活用
  - ・空と海の定期航路（空：米子～ソウル、海：境港～東海～ウラジオストク）の活用
  - ・日本海側の物流拠点境港のさらなる整備と一層の利用拡大
    - ※中国やまなみ街道、瀬戸内しまなみ海道、米子自動車道・岡山自動車道・瀬戸中央自動車道を活用して、関西、山陽、四国から境港を介して海外への物流
- 圏域企業の海外進出支援のための官民挙げた「インド」進出
  - ・ODAを活用した経済協力
  - ・松江発のプログラミング言語Rubyを介した、SE人材の育成・確保
  - ・インドにおける日本語教育推進への協力
- 圏域の特長を活かした企業や研究機関の誘致
  - ・安来の特殊鋼技術を活かした金属関連製造業、境港の水産加工業、松江のIT産業、米子の医療、出雲の電子部品をはじめとする製造業、大山の農畜産業
- インバウンド観光の推進
  - ・山陽、四国との広域観光ルートの形成
  - ・大型クルーズ客船の寄港促進
  - ・Wi-Fi環境、サイン、免税店、カード対応などの受け入れ基盤の整備
  - ・オリンピック開催を契機とした欧米向けの対応
- 地域資源の発掘
  - ・「山陰いいものマルシェ」の定期的開催（JR西日本や圏域経済界と連携、隠れた良いものの発掘～販売促進）
  - ・神話や歴史、民俗に関する国の研究機関の誘致

- ・高等教育機関との連携
- 圏域への移住・定住の促進
  - ・Iターン、Uターンの推進
  - ・CCRCの検討

### ②交通ネットワークの充実

- 5市を2つの湖を介して結ぶ「8の字ルート」の早期完成
  - ・物流拠点境港の利便性向上（RORO船の寄港）
  - ・圏域内外のヒトとモノの移動や流通の一層の利便性向上（中海架橋、米子市～境港間の高速道路などの道路ネットワーク、境港出雲道路、江府三次道路、中国横断自動車道岡山米子線の4車線化などの早期実現）
  - ・圏域の距離と時間の短縮

### ③住みたくなる圏域づくり

- 自然環境の保全と活用
  - ・EVを活用したまちづくり
  - ・中海・宍道湖・大山を活用した交流人口の拡大

### ④住民サービスの向上

- 「公共交通の利便性向上」「人材育成の共同化」「公共施設の共同利用」の推進